

2024.06.02. イエスは主で、神である
ヨハネ 20 章 28 節 29 節
Mac 牧師

頭を下げ、一緒に祈りましょう。主よ、この時間を心から感謝します。主よ、私たちに必要なのは毎日、あなたとの時間です。私たちにこのような美しい場所を与えてくださって、感謝します。あなたは、私たちが交わり、あなたを礼拝し、賛美し、主よ、あなたの言葉を聞くためのこの場所を祝福してくださっています。今朝の教えを祝福ください。主よ、マック牧師を祝福し、あなたの聖霊だけが与えられる力を彼に与えてください。私たちの人生であなたがなされたこと、そしてこれからもあなたがし続けて下さるすべてに、改めて感謝します。私たちはこれらのことを、力ある唯一の御名、イエスの御名によってお願いします。アーメン。アーメン。

主を褒め称えます。どうぞご着席ください。では、おはようございます。聖人の皆さん。(会衆：おはようございます。) おはようございます。罪びとの皆さん。(会衆：おはようございます。) そうそう、ははははははは！！ そこを忘れないでください。だから救い主が絶対必要なのです。とにかく、ようこそ。来てくださり大変嬉しいです。J.D.ファラグ牧師に代わって、ここカルバリー・カネオへようこそ。オンラインで参加の方も、あなたが霊において一緒にいることを感謝します。今朝、主が私たちに何をご用意されているのか楽しみにしています。そして今週、主が私たちに何をご用意されているのかも楽しみです。祈り会です。6月4日(火)この礼拝堂で午後7時から。可能であれば、是非来て、一緒に祈ってください。JD牧師が短いメッセージを伝えます。それも楽しみにしてください。信者、キリストの体として祈る時間を持ちます。私たちはできる限り多くの祈りが必要で、いつも絶えることなく祈らねばなりません。さあ、何の時間かご存知ですか！！ — (笑) —

私はJDの帰還を発表できるんです！！ はっははは！ 超ワクワクしていま～す！！おお、なんということ！ もちろん、私たちがとても愛し、大切にしている彼と彼の家族のために祈り続けます。今月は彼にとって本当に、本当に忙しい月でした。彼が実際にどれだけの休養を取ったのかは定かではありません。でも、御心なら、JDは、今言ったように火曜日の祈り会から戻ってきます。その後、説教開始は、来週の礼拝、「ダニエル書」です。彼が戻ってくるのを楽しみにしています。ですから、彼と彼のご家族のために、これからも力が続くように祈ってください。私たちは彼をととても愛しています。ええ、そう、JDが戻ります。これは凄いことです。それでは、始めましょう。日曜日には2つの礼拝があり、通常、第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」、第二礼拝は「説教」に専念します。しかし、今日の第一礼拝は、「ヨハネの福音書」22章28節29節を見て欲しいと思います。可能な方はご起立ください。今朝の聖句の朗読の後、祈りの言葉を捧げます。繰り返します。「ヨハネの福音書」20章28節から、神の御言葉をお読みします。

—ヨハネ 20：28—

トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

—ヨハネ 20：29—

イエスは彼に言われた。「(トマスよ) あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

今朝、この御言葉への祝福を神に祈り求めましょう。愛する天のお父様、永遠の神よ、私たちは謙虚な心であなたのもとに参ります。あなたの威厳に心を低くし、あなたがこの教会で私たちに会ってくださいますようお願いいたします。私たちが聞き、心に留めるよう、私たちの主で、救い主イエス・キリストの恵みと知識において成長できるよう、あなたがメッセージを届けてください。全てを支払ってくださったお方を。主よ、あなたの御言葉故に、あなたというお方が故に、今朝あなたを崇めます。救世主イエス、イエシュアの力ある御名において祈ります。アーメン。では、どうぞご着席ください。ありがとうございます。今朝、私たちの学びのタイトルは『イエスは主で、神である。』これは、多くの議論を引き起こし、今もなお続いている話題のひとつです。特に学問の領域で。恥ずべきことです。イエスの名はそれだけですでに多くの憎しみを引き起こしています。あなたがイエスが神だと主張すると、かつてはイエスに、イエスのうちに好意を抱いていた人々でさえ、この話題から距離を置き始める。もしくは、彼らはこの聖書真理を完全に否定する。

これは誰も回避できない教理です。イエスが子なる神だと信じないなら、聖霊なる神の御業を拒絶していることになるからです。聖霊のうちに、子なる神がお宿りになられたから。キリストの神性は、クリスチャン信仰の根幹で、決して切り離すことはできません。繰り返しますが、私は神の御言葉の権威に基づいて、こう言います。イエスが神だと信じないなら、あなたは信者ではありません。あなたがイエスにおいて持つどんな信仰も、イエスは神であり、子なる神イエスがないなら、すべて無意味です。ええ、厳しい発言ですよ。ご心配なく。私の言葉ではありませんから。神の御言葉が仰っているからです。聖典にはこのことがはっきりと書かれています。そうでないと主張する人も多いでしょうが。もしあなたがこのことを知らず、受け入れられないなら、神はあなたの心をご存知です。何の問題もありません。私が初めて主のもとに来たとき、このような理解はありませんでした。神がイエスを礼拝しなさいと仰ったことは知っていました。それが私のする事のすべてでした。成長し、その真意が理解できるようになると、まったく気にならなくなりました。それは神をより讃えることとなります。しかし、一般的に、これはこんにち、問題以上のものです。この最近の世論調査にも表れています。聞いてください。

ー引用ー

「福音主義派と公言するクリスチャンの 95%近くが三位一体を信じるにもかかわらず、彼らの 80%は、イエスが神による最初で最大の被造物だと信じている。」

皆さん、聞いてます？ で、おそらくこれは、聖典を知らないが故のことでしょう。あるいは、モルモン教やエホバの証人みたいな教えに限られているかもしれませぬ。しかし、控えめに言っても憂慮すべきです。彼らの大半は、こうこだわっているように見えます。「どうやって神がこんなことができるのか、神はどうこの三位一体になれるのか。」彼らの疑問は、「父なる神が、永遠の御子をなぜ神として持つことができるのか。」と。そう、これが彼らのこだわる点です。彼らは、神がなぜ御言葉どおりなのかを理解する代わりに、神がなぜそのようにありえるのかにつまづいているようです。違いが分かりますか？ 主にとって不可能なことがあるだろうか。(創世記 18 : 14/エレミヤ 32 : 17/ルカ 18 : 27)

だから、私たちは、主の神秘的なご性質を知る必要はありません。しかし、あらゆる形で、神は私たちにその理由を語り、示されます。それが、私たちが理解しようとするべきことです。ですから、あなたがイエスを主で救い主だと信じていても、なぜイエスが完全な神であり完全な人でなければならないのか理解できないなら、今日、主がこのことを明らかにしてくださるよう祈ります。それにより、あなたが別のイエスを無駄に信じないために。では主のお許しを得て、私はまず、イエスが神だと認めないむなしい信仰を直接取り上げることから始めたいと思います。次に、イエス・キリストの神性についての教理を聖典から見、主であり、神であり、完全な人でもある永遠のイエスだけが、私たちが救う力があり、私たちが信じねばならないことを、聖典から証明します。

では、先ほど述べたように、もしあなたが、エホバの証人のように、イエスは神のようなもの、という別のイエスを信じているなら、聞いてます？ 神のような、何か。もしくは、モルモン教のように、キリストの完全な神性を否定する他のグループなら、あなたがクリスチャンを自称しても、イエスの真の信者ではありません。どうです？ 悲しいことに、あなたの信仰は無駄です。

そして神の御言葉に従って、あなたは自分の罪の中で死にます。(ヨハネ 8 : 24)

信じるべきイエスはただお一人。この真理も、「ヨハネの福音書」8章23節と24節に記されています。神の御言葉をお読みします。

ーヨハネ 8 : 23ー

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは下から来た者ですが、わたしは上から来た者です。あなたがたはこの世の者ですが、わたしはこの世の者ではありません。」

ーヨハネ 8 : 24ー

それで、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。わたしが『わたしはある』であることを信じなければ、あなたがたは、自分の罪の中で死ぬことになるからです。」

23 節で、イエスはご自分の生まれた家と、話している相手の家を分けておられます。しかし、物理的な場所だけを基準にしておられるわけではなく、霊的なものにも向けておられます。言い換えれば、イエスは完全な天からの霊でした。そして彼らは霊的に歪んでいて、黄泉に落とされ留められる。そして、イエスが天から生じ、天から来た主張されるのはこれが初めてではありません。これは、イエスがパリサイ人と交わした会話の続きで、だから 24 節で、イエスが誰なのかを信じなければ、彼らは罪の中で死ぬと繰り返しておられるのです。ですから、この箇所、イエスがどなたなのか語られた点をしっかりと理解しましょう。ついてきていますか？ イエスは仰いました。『わたしは（神で）ある』これは救い主の言葉です。それが分かりましたか？ イエスは仰った。『わたしは（神で）ある』これが主張です。これが、彼らが罪を赦され、救われるために信じなければならなかったお方です。分かりますか？ また留意すべきは、彼らに、イエスが『わたしは（神で）ある』をまだ信じる時間があるように見えること。なぜなら、「信じなければ」の前には「もし/if」という言葉がついているからです。（口語訳参照） 分かりますか？ なぜなら、「もし」彼らがイエスが『わたしは（神で）ある』を信じるなら、罪のうちに死ぬことはなくなるからです。ここまで大丈夫ですか？ ここでのポイントは、イエスが「わたしは（神で）ある」の肩書きを用い、ご自分が誰なのかを明らかにされたことです。そして彼らのように、私たち皆が、イエスが「わたしは（神で）ある」を信じ、自分の罪の中に死ぬことです。これに関して何も変わっていません。彼らはパリサイ人だから、イエスが何を仰っているのか理解できたはず。しかし、あなた方の心が頑なで、見当違いの情熱で、信心深さが間違ったところにあると、そういう人々は神の御言葉に盲目になります。多くの聖句の中から「イザヤ書」43 章 10 節から 13 節に、正に「わたしは（神で）である」とは誰なのか書かれています。神の御言葉が仰られます。

—イザヤ 43 : 10—

あなたがたはわたしの証人、—主のことば— わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。

—イザヤ 43 : 11—

わたし、このわたしが主であり、ほかに救い主はいない。

—イザヤ 43 : 12—

このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はいなかった。だから、あなたがたはわたしの証人。—主のことば— わたしが神だ。

—イザヤ 43 : 13—

これから後もわたしは神だ。わたしの手から救い出せる者はない。わたしが事を行えば、だれがそれを戻せるだろうか。」

さて、子供のような心で神を愛する私たちは、『わたしは（神で）ある』が誰を指しているのか、はっきりとわかります。これらの箇所、この言葉が目になります。『主』と、わかりますね？ 『救世主』、分かりますか？ そして『神』。同じ文脈で使われていて、お一人を指しています。神の御言葉（聖書）全体を通してこのパターンを目にします。真の生ける神は、多くの明確な称号があられます。それらが組み合わせあって、『主』がどなたであるかを特定します。なぜなら、『神』という言葉だけが、偽りの神々を有するすべての国々で一般的に使われているからです。だから「ヤコブの神」は唯一無二なのです。それが私たちの神です。これは、イエスが、ヤハウエへの紛れもない参照を用いられたおまな理由の一つです。そうすることで、昔も、今も、この先も、主が誰なのかに疑いはなくなります。人々が、聖典を読んでもなお、このつながりを否定する時、彼らは、パリサイ人と同じ立場に立っているのです。それが分かりますか？ 彼らは、自分たちが神の主権を守っていると本気で思っていました。彼らはあまりにも高慢で、人の子（イエス）の愛と謙遜を受け入れることができなかつた。では次に、本文の 28 節を見て、この最も力強い一節に関連する聖句をいくつか吟味しましょう。キリストの神性について、本当に決定打ですよ。もう一度、神の御言葉をお読みします。

ーヨハネ 20：28ー

トマスはイエスに答えた。「私の主、私の神よ。」

私たちは聖句から、イエスがトマスを正す必要がなかったことがわかります。トマスは真実を語っていたからです。聞いてます？ 彼はこうは言わなかった。

「さあ、おっ、おっ、相棒。ちょっと待って、家族よ。私たちはここで誤解をしているようだよ。」違います！！ この学びのタイトル通り、『イエスは主で、神である。』トマスについて、少し考えてみたいと思います。聖書に、彼は見ることによって信じるようになったとあるからですけど、神の御言葉からは、トマスが実際に主を触ったかどうか分かりません。私にはそうは思えません。皆さん、ついてきていますか？

私は彼がそうしたとは思いません。トマスは、イエスに話しかけられたとき、とても衝撃を受けたと思います。分かります？ その8日前に、他の弟子たちに仰ったことを、トマスはすでに聞いていたから。(ヨハネ 20：25～26参照) なぜイエスは知っていたのか？ おお、イエスは神だから。そして、トマスはこのことを明確に認識した。だから私の目に浮かんでくるのは、トマスが膝から崩れ落ちる姿、そして泣き叫んだ。「私の主、私の神よ。」そして、私たちのために、このことが聖典にあるのです。

再度、多くの公言するクリスチャンが、この絶対的な真理を見抜けないのは何とも嘆かわしいです。他に何ができるといえるのですか。「主であり、神である」という言葉は、旧約聖書全体を通して使われています。忘れないようにしましょう。イエスの時代もそれ以降も、彼らが語ることが真実かどうかを確かめるために聖典を調べるには、旧約聖書しかなかったこと。ですから旧約聖書を見てみましょう。ちょうど彼らがそうしていたように、神の御言葉が隠れていたことが、はっきりと明らかになります。もし彼らが、弟子たちの言葉とそれを確証した人の子(イエス)に注目し、心に留めていたなら。問題は、私たちはそれに注目するのにか。私たちはそれを心に刻むのか。再度、「主であり、神である」というフレーズを取り上げます。それを踏まえて、「第一列王記」に何が書かれているかを見てみましょう。とても馴染みのある記述です。18章38節と39節、この記述では、エリヤがバアルの偽預言者たちに対処しています。彼は、主に天から火を降らせてくださるよう祈ります。神の御言葉をお読みします。

ーI列王記 18：38ー

すると、主の火が降り、全焼のささげ物と薪と石と土を焼き尽くし、溝の水もなめ尽くした。

ーI列王記 18：39ー

民はみな、これを見てひれ伏し、「主こそ神です。主こそ神です」と言った。

これが分かりますか？ 私たちは自問できるのが、なぜ彼らは、エリヤを主で神だと見なかったのか？ ひとつは、エリヤがそれを主張しなかったから。一度も。でも人の子(イエス)は主張された。イエスが、主で神だから。そして100%人。たとえエリヤの周りの人々が彼を神と呼ぼうとしたとしても、真の生ける神に仕える者である彼は、それを決して受け入れなかったでしょう。使徒パウロとバルナバがそうでした。

(使徒 14：13～15)

その記述を覚えていますか？ 彼らは、それを自分たちが神だとして受け取らなかった。全く違います。実際、神の下にある被造物は、誰一人としてそんなことはしません。救われていない人は違うけれど、神の下にある者は、決してそんなことはしません。主なる神のみが礼拝され、賛美されるべきです。先に進む前に、私は、この記述の中で、主の火は、この全焼のいけにえに関わるすべて、土や水に至るまでを焼き尽くしてしまわれることに気をとめずにはられません。これは本当に驚くべきです。でも、火はそこで止まった。しかしながら、イエスが火を送られるとき、その火は地を焼き尽くします。「ルカの福音書」12章49節に記されています。イエスが話しておられます。神の御言葉をお読みします。

ールカ 12：49ー

わたしは、地上に火を投げ込むために来ました。火がすでに燃えていたらと、どんなに願っていることで

しょう。

私はこう言いたいのです。火が完全に燃えているとき、イエスが主であり、神であることを誰もが知るようになるでしょう。そして、すべての人が事前にその結論に達することを祈ります。聖書は、教えます。「私たちの神、主は焼き尽くす火である」と。留意すべきは、「イエスは、地上に火を投げ込むために来られた。」もう一度言います。イエスはどこから来られたのか？ 私たちはこれが分かりますか？ 聖典の至るところにあります。しかし、私が言ったように、この「主であり神である」というフレーズと一緒に使われるのは、キリストの神性と父なる神の偉大さを強調するためです。いいですか？ 次に進む前にもう1つ見てみましょう。でもその中で、私は皆さん一人ひとりに、もう一度振り返ってみてほしいと思います。大変豊かです。本当に。ほとんどの場合、やはり、人々が聖典を調べないから問題なのです。彼らは一節を見て、それで終わり。それにしがみつきます。私は言い続けていますが、カルトはそうやって形成されます。私たちは、十分な情報に基づいた決断を下すため、神の御言葉の御旨全体を持たねばなりません。一節じゃありません。だから、十分な注意を払ってベレヤ人になってください。旧約聖書だけを見ても分かります。なんということでしょう。その豊かさは無限です。その一つが、「詩篇 86 篇」12 節と 13 節にあります。神の御言葉が仰られます。

一詩篇 86 : 1 2 ー

わが神 主よ 私は心を尽くしてあなたに感謝しとこしえまでも あなたの御名をあがめます。

一詩篇 86 : 1 3 ー

あなたの恵みは私の上に大きく あなたが私のたましいを よみの深みから救い出してくださるからです。

私たちの救い主イエスについて、これが真実では？ 私たちの主であり神は、私たちを救い出してくださいませんかでしたか？ 私たちに対する主の憐れみの故に。本当に悲しくなります。私たちは神の御言葉の御旨すべてがあるのに。(使徒の働き 20 : 27 参照)

それが私たちにはっきりと与えられているのに。私たちは、キリストの神性のこの基本的な真理を、悪魔がイエスは神性を持たない、ただの人間だったという致命的な嘘に仕立て上げるのを許してしまいました。イエスの全ての肩書きでさえ、特に神の子と人の子、両方、両方の性質を示しても、それは退けられてしまふ。これらの肩書きは、その背後の本当の意味を理解することなく、大変大雑把に捉えられています。これは単なる紙に書かれた言葉ではありません。聖典です！！ 覚えておいてください。このことを十分に理解していないのが、ひとつの問題ですが、それを拒否するのはまた別の話です。この真理を理解できないかもしれない人々に、まず、イエスの神性のイエスの永遠のご性質を理解できるかどうかを確かめたいと思います。それから、人類を救済するため、なぜ主が完全な人でなければならないのかを見ていきます。

では、この永遠のご性質に取り組みましょう。さあ、永遠の存在が創造されるのは不可能であることを理解しなければなりません。何か言ってみなさいよ！！ — (笑) — もう一度してみます。永遠の存在は創造されません。同意しますか？ (会衆：はい！)

主を褒め称えます。主を褒め称えます。永遠であるものは何であれ、神に違いありません。どう？ (会衆：アーメン！) そうです。だから、父なる神を信じる私たちは、神が永遠であると信じると言えます。私たちはそう信じますか？ (会衆：はい！) よろしい。私たち、大丈夫ですね。私たちはうまく行っています。バカげているように聞こえるかもしれませんが、すべてを明確にする必要があります。でしょう？ ここにはくだらない質問などありません。よろしい。では、私たちが父なる神が永遠であることを知り、それをはっきりと理解し、神は創造主であり、創造されることはないを知るなら、そうなら、イエスである御言葉が、神であることがはっきりとわかるはずで。私たちはこの真実を知っています。これは私たちがいつも読んでいるものです。「ヨハネの福音書」1 章 1 節に収められています。それで解決するはずで。でも解決しない。ですから、続けます。先ほど述べたように、聖典を読むと、この真理は特に「ヨハネの福音書」1 章 1 節で指摘されているのが分かります。なおこの繋がりが否定されます。それはパリサイ人と同じ立場に立つことになります。私がそう述べたのを覚えていますか？ まあ、実際はもっと酷いのですが。本当に。それよ

りももっと酷いです。私たちは神の御言葉の御旨すべてがあつて、そこには、パリサイ人たちが自分たちのために結論づけるであろうことも書かれているからです。パリサイ人たちが自分たちで結論づけたことが書かれています。

聞きましたか？ このことも、「ヨハネの福音書」5章16節から18節に記されています。神の御言葉をお読みします。

—ヨハネ 5：16—

(そのためユダヤ人たちは、イエスを迫害し始めた。) **イエスが、安息日にこのようなことをしておられたからである。**

何を？ おお、人々を癒しておられます。どれだけ悪いというの？「そのためユダヤ人たちは、イエスを迫害し始めた。」

—ヨハネ 5：17—

イエスは彼らに答えられた。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。それでわたしも働いているのです。」

—ヨハネ 5：18—

そのためユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとするようになった。・・・

なぜか？

・・・イエスが安息日を破っていただけでなく、神をご自分の父と呼び、ご自分を神と等しくされたからである。

これが分かりますね？ 彼らは、イエスが仰ることをはっきりと理解していた。それが聖典にあります。これは10章33節にも書かれています。では、イスラエルの民は、常にヤハウェを自分たちの父として見ました。しかし、イスラエルの子孫の中で、神が自分たちの直接の父であると主張した者は一人もいません。それがイエスのしておられたことです。そして、これは一過性の発言ではありません。違います。これがすべての主張の中の主張でした。神の子、人の子だけが真に公言できる主張です。ついてきていますか？ で、「第一ヨハネの手紙」5章20節にある、もう一つの重要な箇所を見てみましょう。御言葉をお読みします。

—Iヨハネ 5：20—

また、神の御子が来て、真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことも、知っています。私たちは真実な方のうちに、その御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。

オレンジジュースを飲み過ぎたかな。—(笑)— これが分かりますか？ これが非常に素晴らしいのは、その構成です。もちろん、聖霊はこの言葉を完璧に配置されました。そのおかげで、偶像を取り上げるという文脈を保っています。さらに読み進めると、父なる神と子なる神を真の神として明確に位置づけながら。それが分かりますか？ それだけじゃありません。理解力を私たちに与えてくださったとあります。それが分かりますか？ それは神の聖霊によってもたらされます。そして、それが私たちが神の中にいる方法です。私たちは父なる神と子なる神の両方の中にいます。神の御霊が故に。また、この節には、すべての結論が示されています。それが「永遠のいのち」です。そして私たちは知っている、あるいは知っているはず。永遠の命は被造物によって与えられるものではないことを。それは神によってのみ与えられます。なぜなら、永遠の神だけが、神が常にお持ちであるものを与えることがお出来になるのだから。神は御言葉の中で、ご自分の栄光を他の者と分かち合うことはないと言いました。(イザヤ 42：8)

だから、父と子はひとつなのです。そして、ひとつであることは、神であることに関するあらゆる点においてです。繰り返しますが、神はご自分から栄光を奪うため何かを創造したのではられません。その神性は、永遠の神の御霊の力によって、常に永遠の御子(イエス)とともにあります。神が永遠に栄光を受けら

れるように。イエスは主で、神で、そうなされました。それを受け入れられない人は、神を小さく見ています。では、人の子（イエス）の肉に目を向けてみましょう。「第一テモテへの手紙」3章16節に記されています。御言葉をお読みします。

—Iテモテ 3：16—

だれもが認めるように、この敬虔の奥義は偉大です。「キリストは肉において現れ、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国の民の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

さて、これは私たちが毎日歌うべき賛美です。カポノ、準備してください。ナンバーワン・ヒットだぜ。すでに書かれています。「だれもが認めるように、この敬虔の奥義は偉大です。」聞いてますか？ 初代教会はこの真理をこう考えていました。だれもが認めるように/論争なく。ある者は、神が成されたことにおいて、そのすべて意味するところはあらゆる疑問の域を超えていたと指摘します。読むのは難しくないでしょう？ 難しくないと 생각합니다。簡単なことだと思います。「神は肉において現れ、」もう一度、ゆっくり読みます。

「神は、—（笑）— 私自身が大げさでないか確認するため言っているんですよ。—（笑）—「神は肉において現れ、」ゆっくり着実にします。"manifested/顕在化した"という単語を見てみましょう。私たち全員が同じページにいることを確認するために。ここで決めつけたくありません。こんにち、言葉には本当に気をつけなければなりませんよ。すぐに変わりますからね。あなたは時々、自分が何を言っているのかわからなくなる。その話に行くつもりはなかったんですが、これを聞いてください。誰かが何かを送信してきました。誰だったか忘れましたが、でも、それについて話していて、何らかの理由で暴れた人がいたんです。彼らは"それ"として扱われてなかったから。ねえ、聞きました？ 言葉は重要です。でも、ちなみに定義もそうですよ。では、定義してみましょう。"manifested/顕在化した" そうすれば"明らかにする、現れる"という意味なのが見えるからです。ついてきてますか？ ですから、「神が聖霊によって、肉に現れた。」マリアの受胎、聖なる受胎については12月に話しましたね。しかし、神によるこの肉における顕現は、人間の力を必要としなかったからです。神とともにあった言葉が肉となり、アダムの罪の性質を受け継がなかった。ついてきていますか？ 神、聖霊がマリアに覆いかぶさり、この聖なる受胎は、人間の罪深い肉のあらゆる点で汚されない。これが故に、最後のアダム（イエス）には罪がなく、内に罪がなく、罪を知らなかった。だから、神の完全性が、罪のない幕屋（肉）に現され、あらゆる点で完全な人でした。そして、これは理解する上で非常に重要です。これも理解してください。

父なる神は、神の御前で肉が栄光を受けることはない（Iコリント 1：29）

おっしゃるとき、それは、罪によって墮落した人類の肉に語りかけるものです。ついてきていますか？

罪深い肉は主の御前で栄光を受けられません。しかし、子なる神イエスは神ご自身の完全性によって受肉し、この世の罪を背負われるまで、栄光と賛美と礼拝を受けることを許された。それを理解しないと、めちゃくちゃになってしまいます。神の子（イエス）は、アダムによって失われたものを贖うため、完全な人として肉体をもって来なければならなかった。イエスはまさにその理由から、私たちの近親贖い主と呼ばれています。（レビ 25・27参照）何が私たちを近親にするのか？ 肌・肉です。皆さん、分かりますか？

言い換えれば、神が人になられたとき、神は、ご自身の創造物に似せておられます。贖いの力が現されるため、私たちと近親関係を結ばれるために。私たちは、驚愕します。神が持つておられるすべての称号を、イエスが満たしてくださることに。近親贖い主について考えてみてください。そして、そのすべてがどのように展開したのかを。神が持つすべての称号を、イエスは満たしておられます。「見よ、巻物の書にわたしのことが書いてあります。」（ヘブル 10：7）

イエスはすべてを成就するために来られました。あらゆる面で。そして、私たちの近親贖い主となるとき、主は民と土地の両方を取り戻されます。事実、主は、ご自身の民、イスラエルを取り戻し、ご自分の御名がある神の土地を取り戻し、あらゆる国、地球全体のすべての信じる民、そして被造物も全て同様に。すべては人の子（イエス）によって贖われます。私たちはキリストの神性について時間をかけましたが、イエス・キリストの人性も見逃すことはできません。聖霊により宿ったとはいえ、イエスは人間の姿のあらゆる面を、その隅々まで経験されました。彼は子どもとして成長し、10代になり、同じ苦しみ、課題を抱えたはず

です。私たちのように、イエスも誘惑に駆られた。繰り返しますが、すべてに罪はなく、しかし、人間であることに伴う感情がないわけではありません。聞いていますか？ 完全に人であるイエスは、完全に神であるにもかかわらず、父に祈られた。なぜなら、人としてのイエスは、私たちと同じように神を必要としていたからです。しかし、それで神性が失われたわけではありません。実際、父なる神に完全に依存し、神だけがなしうる業を行うことで、この二面性を証明されました。イエスは完全に人でなければならなかった。なぜなら、繰り返しますが、イエスの人性こそが、私たちがイエスと持たねばならない近親関係をもたらすからです。「ガラテヤ人への手紙」4章4節と5節に記されています。御言葉をお読みします。

ーガラテヤ 4：4ー

しかし時が満ちて、神はご自分の御子を、女から生まれた者、律法の下にある者として遣わされました。

ーガラテヤ 4：5ー

それは、律法の下にある者を贖い出すためであり、私たちが子としての身分を受けるためでした。

神の人性について議論している一方、これにも注目してほしいと思います。『神はご自分の御子を遣わされた。』これが分かりますか？ 御子は常に聖霊なる神であられた。しかし、神は御子を遣わし、律法の下に生まれさせられた。それが分かりましたか？ 律法の下に生まれることを、聖書は、律法の下にあることは呪いだと教えています。(ガラテヤ 3：13参照) でもなぜなのか？ ああ、律法の下にあることが呪いなのは、誰も律法を守ることができないから。人の子(イエス)以外には。注目ください。ですから、イエスの完全な人性において、キリスト(救世主)イエスについて話しています。イエスは律法を守られた。で、考えてみてください。完全な人性をもちながら、律法を守られたキリストは、律法の呪いを受けることはなかった。それが何を意味するのか、理解していると私に言ってください。イエスは死である律法の呪いを受けることはなかった。なぜなら、

「罪の報酬は死です。」(ローマ6：23)

と記されているからです。しかし、イエスにおいて、イエスを通して、イエスについて、イエスは罪を知らなかった。分かりますか？ そして私たちは、罪とは律法に対する違反であることを知っています。キリストが決して破らなかつた掟です。(ガラテヤ)3章13節では、この呪いが明らかにされています。神の御言葉をお読みします。

ーガラテヤ 3：13ー

キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちが律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。イエスは呪われた者となってくださいました。

世の罪を背負うことで。繰り返します。私たちが贖うことができるのはイエスだけです。完全な人性において呪いとなることのみ、それが可能となったのです。人々がイエスを見ると、そのほとんどは犯罪者として見ました。なぜなら、そうやって犯罪者を殺すからです。人々はその犯罪者たちを呪い、神の呪いと考えました。自分たちが呪われていて、神であるイエスが、全人類にとって究極の祝福となることを認識せずに。これこそ神が隠された奥義でした。そしてイエスはその人性で成就された。「ピリピ人への手紙」2章5節から8節に、この真理が繰り返されています。御言葉をお読みします。

ーピリピ 2：5ー

キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

ーピリピ 2：6ー

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

ーピリピ 2：7ー

ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

ーピリピ 2：8ー

自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

教会として、私たちはこのことを本当に理解する必要があります。イエスは全人類のために、想像を絶することをしてくださった。毎日、私たちはこのことを考えなければなりません。なぜなら、私たちの誰もそんなことはしなかったでしょうから。結果がどうであろうと、何があろうと、私のような者のために天国から降りてきて死ぬことはないでしょう。特にあなたのような者に。ー（笑）ー 冗談ですよ。でも、私の言っていることはわかるよね？ ええ。それは完璧な愛です。私たちの心の中にそのような愛を得たいと祈るべきです。そして、このことも考慮すべきです。アダムとエバは罪なく創造されましたが、一度誘惑に負けて罪を選んだ。聞いてます？ しかしイエスは、たとえ完全な神性を持っていても、肉において顕現され、そして罪に囲まれて、何度も悪魔の誘惑を受けられた。そして、ご自分が直面するであろう痛みを知っておられました。イエスは、人としてそのような痛みを感じたことはあられなかったにもかかわらず、世の基が築かれる前から、起こると知っていたことに従うことを選ばれた。それを考えてみてください。私たちが仕える神以上に偉大な愛はなく、偉大な神はいません。これが私たちの主であり救い主であるイエス・キリストです。そして主なる神といえば、話を元に戻して、使徒パウロは、「第一コリント人への手紙」8章6節にこのような言葉を記しています。御言葉をお読みします。

ーIコリント 8：6ー

私たちに、父なる唯一の神がおられるだけで、この神からすべてのものは発し、この神に私たちは至るからです。また、唯一の主なるイエス・キリストがおられるだけで、この主によってすべてのものは存在し、この主によって私たちも存在するからです。

これは矛盾していません。これは、今朝話してきたことすべてに関する確証です。こう聞く人もいますでしょう。「分かりました。じゃあ、この中で神なる聖霊はどこにいるの？」

答え：聖典は誰が書いたと思いますか？ 神の御言葉全体は聖霊によって書かれました。あなたが主の御言葉を信じないことを選ぶなら、それなら、あなたは聖霊なる神を冒瀆していることとなります。それは許されざる罪です。議論の余地がある事柄を話しているわけでも、何かについて議論しているわけでもありません。私たちは、神の御言葉の健全な教理を信じることについて話しています。例えば「イエス・キリストの福音」イエスがどういうお方であるかと同様に。他にもたくさんあります。私たちクリスチャンはこのことを認識すべきです。神の御言葉はあらゆる点で真実です。だから、あなたにはそれを信じるかどうかの選択肢があります。私たちの学びに関して言えば、イエスが神だと信じるかどうかの選択肢もあります。しかし、確かなことがひとつあります。最後は誰も言い訳ができなくなります。最後に、実は今朝の最後の締めくくりに 29 節を残しておきました。「ヨハネの福音書」20 章の 29 節です。

ーヨハネ 20：29ー

イエスは彼に言われた。「(トマスよ) あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」

多くの場面で、トマスは、見てから信じたという理由で、悪者にされています。しかし、実際問題、それは、イエスを信じる心を持っていた者は皆、主を見たのです。イエスは、天に昇られる前に、約 500 人に御自身を見せられたと語られています。再度それは、イエスがどういうお方かを信じる心を持っていることと一致します。たとえ彼らが救世主の奥義を完全に理解していなくとも。そしてこの場合、他の弟子たちはトマスにイエスを見たと話していたでしょ。この時、トマスは実際に弟子たちと一緒にいました。そしてイエスはトマスに、彼の信仰を証印するため必要なものを与えた。違いがわかりますか？ 聞いていますか？ 彼の信仰を証印するため必要なものを与えられた。ですからこれはむしろ、人々が信仰を証印するさまざまな方法の証と見ることもできます。私たちが忠実でないときでさえ、主はご忠実だから。そして、私たちの心が正しい場所にあるなら、主は私たちに、主がどういうお方かを知るためその知識の中で成長するため、必要なものを与えてくださるでしょう。だからこそ、私たちの前にこの聖句があるのです。なぜなら、考え

てみてください。弟子たちの中で、トマスはこう言いました。「私の主、私の神よ。」分かりますか？ それ
が故に、私たちは、「Beatitude/山頂の説教」の最大の B を手に入れたのです。これが最後の一つ。分かりますか？
これが最も偉大なものです。「わたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」
「おお、何を信じるの？『イエスは私の主であり、私の神である。』でも、イエスについてこれ信じよ
うとしない人に、あなたはまだ、主であり神に仕えています。ただし、それは悪魔です。これは自分の選択
です。でも、その必要はありません。そして、イエスが神であることを信じない人々にとって、もう言い訳
はできません。全く。主は人の心を知っておられるからです。これが神の御言葉、イエスです。そして、イ
エスはそのまま私たちの信仰の対象です。イエスは聖で、永遠の父で、罪深い人間の贖い主です。そして私
たち全員が罪びとです。罪が問題で、イエスが解決策です。ですから、私たちは皆、魂の救いのためにイエ
スを必要なのです。イエスは私たちの贖罪の主です。今日あなたが、イエスを選び、イエスに仕え、「イエ
ス・キリストの福音」で救われることをお勧めします。「イエス・キリストの福音」とは、聖書にある通り、
キリストが私たちの罪のために死んでくださったこと、イエスは葬られ、3日目によみがえられたこと。

(I コリント 15:1-4 参照)

救われるのは、ABC くらいシンプルです。こう言わせてください。心が重要なのです。私たちは救い主が必要
であることを知ってキリストのもとに来る。主は御言葉の中で私たちにすべてを明らかにしてください。
繰り返しになりますが、私が初めてキリストのもとに来たとき、私はこのすべてが分からなかったけれど、
救われました。私の心が誰を崇拜すべきかを理解したから。ついてきていますか？

A：まず、自分が神に背いた罪びとで、救い主イエス・キリストが必要だと、Acknowledge/認識する。

ーローマ人への手紙 3 章 10 節ー

義人(正しい者)はいない。一人もいない

ーローマ人への手紙 3 章 23 節ー

すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、

この聖句の意味は、誰ひとりとして、自分の功績では、神の国に受け入れられることはありません。

ーローマ人への手紙 6 章 23 節ー

罪の報酬は死です。・・・

先ほども話しました。罪は死です。

・・・しかし神の賜物(贈り物)は私たちの主キリスト・イエスによる永遠のいのちです。

それが A です。B は、B：Believe/信じる。これが中心です。イエスがどういうお方か、仰ることを信じ
る。そして C は、C：Confess/ (口で) 告白する。両方、「ローマ人への手紙 10 章 9 節 10 節、神の御言葉
が語ります。

ーローマ人への手紙 10 章 9 節ー

「あなたの口でイエスは主と告白しあなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるな
ら、あなたは救われるからです。」

ーローマ人への手紙 10 章 10 節ー

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

救われるための最もシンプルな方法です。そして、そのおかげであなたは安息を得ます。神は私たちに愛し
ておられるので、私たちが和解することを望んでおられるからです。「第二ペテロの手紙 3 章 9 節」の御言葉
です。

ー II ペテロ 3 : 9 ー

主は、ある人たちが遅れていると思っっているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

あなたがイエスを自分の救い主として選び、今日、イエスがあなたの主で、救いの神であることも祈ります。ご起立ください。祈りましょう。一拍手一

愛する天のお父様、真理の御言葉を本当にありがとうございます。私たちにはそれがが必要です。私たちは唯一の真の神に仕えていることを知り、それによって励まされます。主よ、あなたがこのメッセージを取り、聖霊の御力によって、あなただけがお出来になるように、新しい方法で私たちの心の中に入れてください。私たちが出て行って、あなたのいつくしみを宣べ伝え、あなたがどういお方かを宣言し、あなたを礼拝し、賛美し、あなただけにふさわしい誉れと栄光をもたらせますように。私たちは今、あなたがしようとしておられることを感謝します。救世主イエス、イエシュアの力強い御名において祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7